

島根県精神福祉当事者連絡会56号



副編集長ティーの趣味公開

自分の趣味の一つに読書があります。今日は読んでいる本の中から2冊紹介させていただきます。三浦つとむ著「弁証法とはどういう科学」弁証法は「自然、社会、精神を貫く一般法則」といいますか、弁証法によって世界のすべてが説明できる。という結論にたっしたのは観念論哲学の完成者であるヘーゲルです。ヘーゲルの弁証法を唯物論の立場から改作したものの教科書が三浦つとむの「弁証法はどういう科学か」です。

海保静子 著 「育児の認識学」

海保静子氏は保育の実践者であり、弁証法を駆使して赤坊の認識の発展を世界で初めて科学的に解明した本であると思っています。

白鳥物語
美味しいパンの白鳥
白鳥さんはいつも、幸せになるパンを焼いています。
そのパンは幸せを呼ぶパンです。
幸せを呼ぶのは他人の幸せです。
カレーパン
北風さん自分の幸せ願う男
春の便り人の幸せ願う男
神様

ポエム

コロナウイルスと作業所の被害

匿名希望

最初に、中国で流行ったコロナウイルスを対岸の火事で見っていました。それからの被害を想像出来たのは、日本の東京で緊急事態宣言を首相が発令してから、悪魔のいたずらみたいに崩れて行きました！本当に怖いのは暑くなっても病気が蔓延することでした！うちの作業所は、土産ものと椎茸栽培の2本だてで給料稼いでいました！そのうちの一つが全く売れず給料を確保出来ずにいました！僕も給料がだいぶ安くなりました収入源の椎茸栽培は、！被害はなかったけど、土産物専門でやってる人の作業が無く！泣く泣く安い仕事を受け持つ事になり、皆の給料がさがりました。中国に賠償して貰いたいけど、気持ちを押し殺し安い作業をしています。今はまだ先が見えてこそ！皆の気持ちが落ち込んではいらないと思いますが、そこは歯を食いしばり、仕事を上手にまわして何とか給料を確保している状態です。早くワクチンが出来ゴールが見えてきたら良いなと願っています。

（連載シリーズ当事者の声）第一回

病院訪問ピアサポートはコロナで休止しています。再開の目処は立っていません。最近病院の意識も変わりつつあり、病院よりも地域で患者に生活してもらおうというのが主流です。しかし今だに病院に取り残されている患者が居ます。この方達は頑なに病院を退院したがりません。もっと早い段階で地域移行に舵を切っていればこうなることはさけられたでしょう。ページが余りないので何回かに渡って話します。（匿名希望）

編集部、699-0611
出雲市斐川町阿宮132
ほっしーの企画室まで

編集長 ほっしー

副編集長ティー

編集部員おかちゃん

新型コロナ感染状況下での工賃にたいするアンケート調査について

新型コロナの感染、相次ぐ自然災害が続く大変な状況下で精神当事者の皆様、また関係者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。島根県当事者連絡会においても残念ながら今年度の総会中止となり、活動も自粛気味で大変ご迷惑おかけしております。その様な中で先日、ようやく感染症対策をとって役員会が開かれました。そこである役委員の方から作業所など福祉施設での工賃が減って困っているという声をお聞きしました。その方の施設では観光業でのお土産をつくる作業の受注がコロナの関係で減ったことで工賃が少なくなったということでした。わたしたち障がい当事者の日々の工賃はただでさえ、非常に少ない額です。一般的には訓練費とみなされ、多くの障がい者は最低賃金以下の工賃しか貰えてません。これも「労働では、なく、訓練とされて」最低賃金法に違反しないとされているのです。このようななかで一般の労働者は新型コロナの感染防止策による売り上げや給金の減少に対して、政府による雇用調整助成金や持続化給付金などの救済制度を受けておられます。でも障がい当事者の工賃や作業所など多くの弱小福祉施設は何も救済制度がない状態のようなのです。島根県当事者連絡会ではこのような私たちの置かれてる状況についてアンケート調査を実施しております。できるだけ正確に状況を把握して、深刻な実態が明らかになってきましたら、県連としても何らかの対応策を考えていこうと思っています。すでにアンケートにご協力いただいた方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。皆様、何卒、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

編集部に投稿してみませんか？
さいようされたらこの会報にUPされます。